

「国家戦略特区」に対するがん研究会の貢献

公益財団法人 がん研究会



JAPANESE FOUNDATION FOR CANCER RESEARCH

© 2014 JAPANESE FOUNDATION FOR CANCER RESEARCH

公益財団法人がん研究会

◇歴史

- 1908 がん研究会創設（がん専門医療機関としては本邦初）
- 1934 大塚にて癌研究会附属病院開設
- 2005 大塚から江東区有明へ施設全面移転
- 2011 特定機能病院に認定



◇がん研有明病院の活動実績(2013年)

- ・がん登録数; 8,620件(2010年)
- ・外来延患者数; 395,363人
- ・入院延患者数; 215,094人
- ・手術件数; 7,459件
- ・放射線治療患者数 ; 1,613人
- ・化学療法件数; 28,609件
- ・上部消化管ESD・EMR 実施件数; 596件
- ・下部消化管ESD・EMR実施件数 ; 474件
- ・国際共同治験数; 21件

- ・敷地面積; 20,000 m²
- ・延床面積; 78,000 m²
- ・700床, 12階建
- ・職員数: 1,705人
- ・手術室数; 20 室



JAPANESE FOUNDATION FOR CANCER RESEARCH

© 2014 JAPANESE FOUNDATION FOR CANCER RESEARCH

国際医療拠点における 外国医師の診察の業務解禁

• 外国人医師の雇用と診察の業務解禁

-外国人医師を雇用し、外国人医師による診療を可能とする。がん研究会有明病院の医師募集を国外に開放し、雇用する。また、姉妹提携病院の北京大学深圳医院等から短期・長期雇用の医師を受け入る。場合によっては、看護師、技師等も同様に受け入れる。

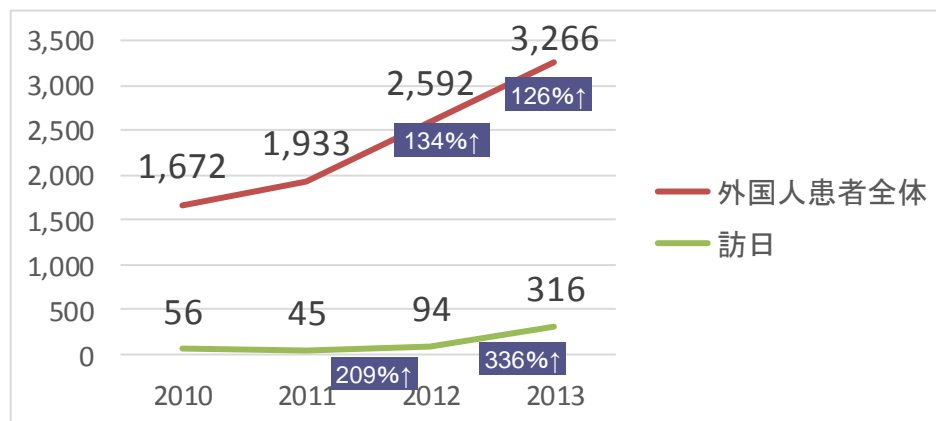
-事業規模；医師の雇用1～2名、その他医療従事者の雇用複数名
研修医等の受入れ年間50名

-事業実施期間；準備期間：2015年～2017年、実施期間：2017年～



がん研究会の外国人がん患者実績

外国がん患者全体と訪日がん患者の延患者数＊1（2010～2013）

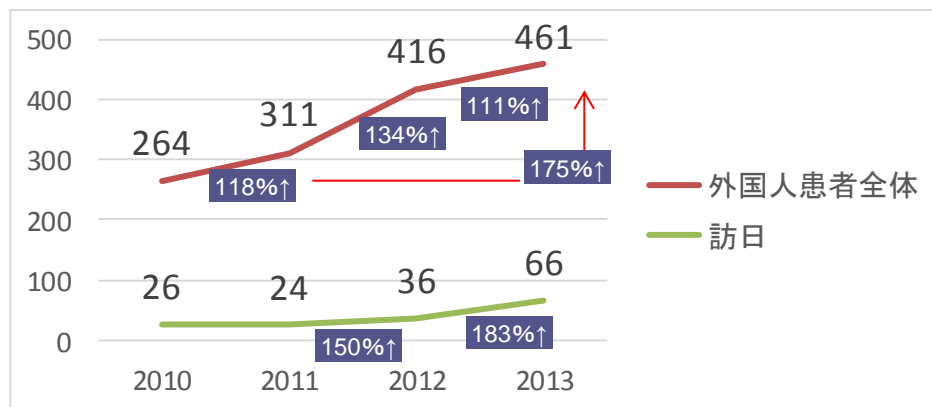


- ・日本の医療の国際化施策に比例して、外国人患者数は、2010年から急増。
- ・訪日患者延べ患者数は、2011年～2012年で2倍強増
2012年～2013年で3倍強の増加

* 2013年度は4月～2月までの11か月間

*1 延患者数；実患者1人が3日間来院すると延患者数3人と換算

外国がん患者全体と訪日がん患者の実患者数（2010～2013）



- ・在日を含む外国人実患者全体では、2010年～2013年の3年間で、1.7倍強の増加
- ・訪日実患者数は、2011年は東北の震災で落ち込むも、2011年～2012年で1.5倍増、2012年～2013年で1.8倍強の増加



JAPANESE FOUNDATION FOR CANCER RESEARCH

© 2014 JAPANESE FOUNDATION FOR CANCER RESEARCH

がん研有明病院の外国患者受け入れ体制整備

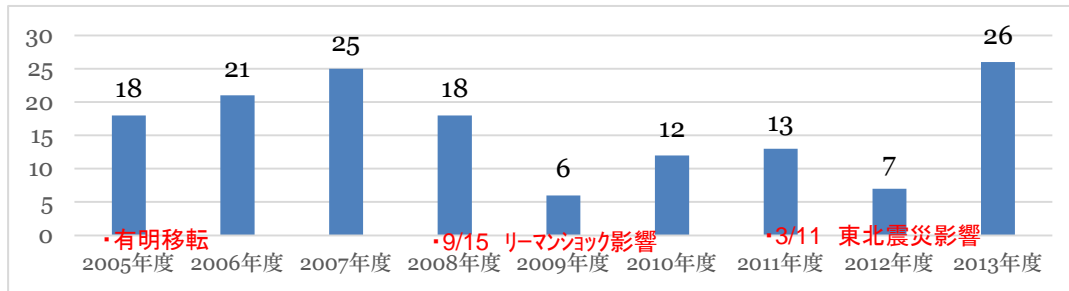
- ・ International Patient Serviceの設置；英語通訳者、中国語通訳者 計4名設置
- ・ 患者説明文書の英語翻訳、中国語翻訳
- ・ I p a dによる患者との会話帳の配布
- ・ 24時間通訳コールセンターサービスの導入；英語、中国語、韓国語、ロシア語
- ・ 多者間通話電話の病室配置
- ・ 電子カルテの英語化
- ・ 患者呼び出し機（ポケベル）の英語化
- ・ 中国語版、英語語版がん研紹介DVD、英語版パンフレットの作成
- ・ 外国患者さん向け英語版ホームページの整備、中国語版は計画中



外国医療従事者の受け入れについて

東京都をアジアのヘッドクォーターへと進化させるに当たり重要な戦略となる臨海副都心のMICE拠点化に繋げ、臨海副都心の開発に貢献

外国医療従事者見学団体数



訪問があった国

韓国、中国、ロシア、アメリカ、カザフスタン、台湾、ベトナム、オランダ、タイ、ブルネイ、クウェート、UAE、ドイツ、スウェーデン、イラク、バーレーン、シンガポール、ミャンマー、オーストラリア、香港、スペイン、スロベニア、フランス、インド、南アフリカ、サウジアラビア、カナダ、モロッコ、スイス、マレーシア、ルクセンブルク、トルコ等々、32か国以上の国から見学

各国からの見学・交流を通じて、世界とのネットワークを構築⇒医療・研究ネットワークのゲートウェイへ

外国医療従事者研修数

外国人医師研修者数；36人（2012）、20人（2013）

参加国；イギリス、中国、ロシア、カナダ、ドイツ、ノルウェー、韓国、シンガポール、スイス等



JAPANESE FOUNDATION FOR CANCER RESEARCH

© 2014 JAPANESE FOUNDATION FOR CANCER RESEARCH